



水土里情報を田んぼの生きもの調査に活用した事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体：水土里ネット新潟

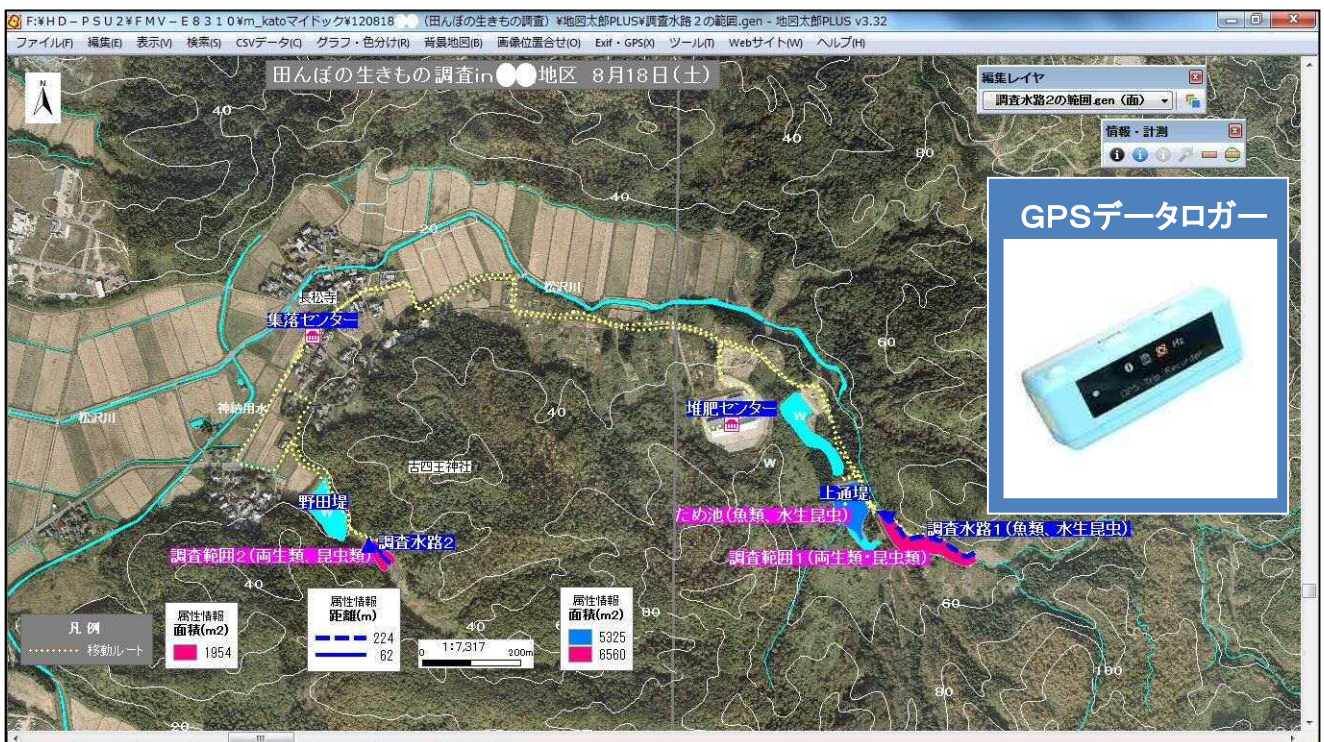
新潟県、新潟県内の農地・水活動組織

取組概要

内容：平成23年度から農地・水環境保全向上対策（現：多面的機能支払交付金）の活動組織がおこなう田んぼの生きもの調査において、航空写真（デジタルortho画像）等を平面図として活用し、田んぼの生きものマップ等資料作成の迅速化を図った。

経緯：①平成22年度から農村環境整備センター（現：地域環境資源センター）と水土里ネットが連携し、活動組織の生きもの調査の支援を行って、農地・水環境保全活動のレベルアップや指導者養成活動が全国的に進められた。

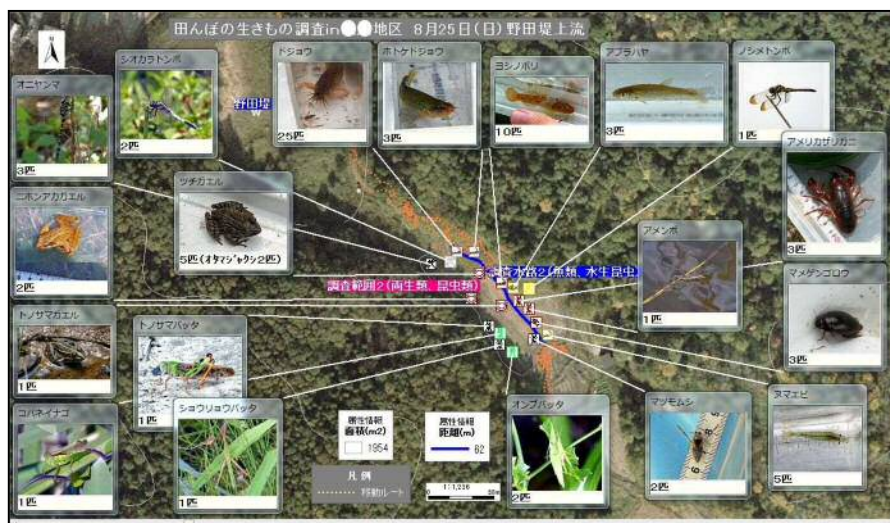
②平成23年度から新潟県内の活動組織の生きもの調査支援において、水土里ネット新潟がGPSデータロガーとGISにより田んぼの生きものマップ等資料作成を実施。GPSデータロガーは約7,000円、GISソフトは地図太郎PLUS約18,000円と低コストな利用が可能であった。



GISソフト地図太郎PLUS操作画面とGPSデータロガー

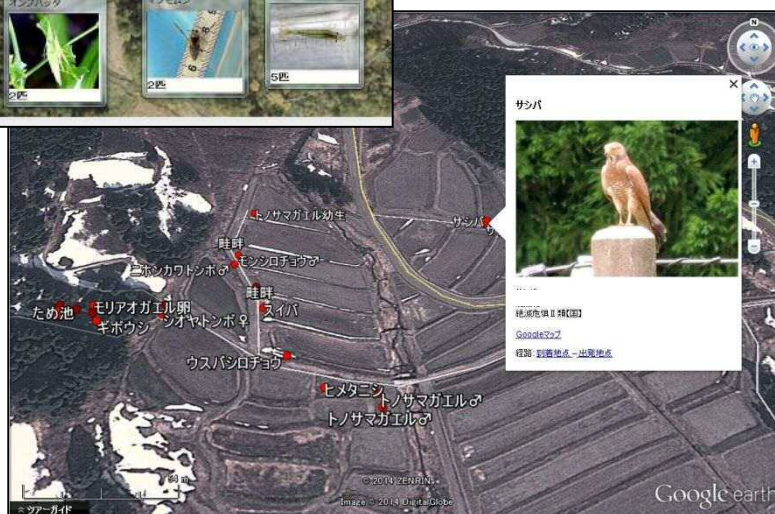
期待される効果

1. GPSデータロガーとGISにより田んぼの生きものマップ作成作業の迅速化が図れる。また、航空写真を利用することにより、ビジュアルなマップ作成が可能。
2. 写真のExif情報化により田んぼの生きもの情報のGISデータベース化が図れる。
3. GISデータをkmz形式に変換することにより、GISソフトが無くてもインターネット環境さえあればグーグルアースで閲覧が可能となり、田んぼの生きもの情報の共有化が図れる。



航空写真を利用することにより、ビジュアルなマップ作成が可能。

グーグルアースで閲覧が可能となり、田んぼの生きもの情報の共有化が図れる。



今後の活用予定

多面的機能支払交付金活動組織および組織を支援する土地改良区、市町村が低コストなGPSおよびGISを利用して、田んぼの生きものマップや活動計画書の協定対象区域図等を作成できるように、今後も「水土里情報GIS講座」等を随時開催して啓発・普及を図っていく予定。

■お問い合わせ先

新潟県農地部農村環境課

025-280-5370(直通)

新潟県土地改良事業団体連合会(水土里情報センター)

025-286-1194(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添)

03-6744-2212(直通)